

## 平成24年度9月議会一般質問

### 1、 上水道の耐震化について

- ① 現在の水道管の耐震化を伺う。
- ② 今後の耐震化計画はどのように検討されているのか。
- ③ 町内全域のループ化整備は考えているのか。

### 2、 全国学力テストについて

- ① 本年度の全国学力テストの本町の学校の結果について。
- ② 今まで行われてきた結果と今回の結果から教育委員会の所見を問う。
- ③ 初めて理科のテストが行われたが、理科に対する本町独自の特色ある学習カリキュラムを編成されているのか。

よくニュース等で南海トラフ地震について報道されており、地震はいつ起こるかもしれない、自然災害の中でも最も恐ろしいものですが、もし起こった時に人間にとって必要なものとして水があります。

そこで、当町の水道管の耐震化率を伺う。

(上下水道部長) 町内には、総延長で約140キロメートルに及ぶ上水道管を布設いたしております。

そのうち铸铁管が約5%、鋼管及びダクタイル铸铁管が約56%、塩化ビニール管が約35%、ポリエチレン管が約2%、石綿セメント管が約2%という配管の状況でございます。

また、お尋ねの耐震化率につきましては、鋼管及びダクタイル铸铁管、ポリエチレン管など耐震性を有する部材を採用し更新を完了しております率といたしまして約58%という状況でございます。

今後更新していかなければならない水道管が半分弱あることが分かりましたが、今後の耐震化の計画を伺う。

(上下水道部長) 耐震化計画につきましては、阪神淡路大震災以後の工事は、すべて耐震性を有する部材を採用し改良を進めております。

今後の耐震化の計画につきましては、管の埋設状況や経過年数及び材質等を鑑みたくえで計画的に更新事業を進めますとともに、他の事業とも整合を図り、工事の連携を取りなが

ら区域を選定し、順次、改良に努めてまいりたいと考えております。

確かに、公共下水道工事と共に改良工事をしたり、国の事業であるいかるがパークウェイに埋設することで上水道管の耐震化を進める上で経費をあまりかけずに無駄の無いようにされていることは理解できますが、更新の必要性の高い老朽化した水道管はできるだけ、早い時期に改良工事をおこなってください。

次に断水箇所を出来るだけ少なくしたり、復旧を早くするために水道管のループ化がありますが、当町全域のループ化整備はどのようになっているか伺う。

(上下水道部長) 町内には北部配水池、第一浄水場、三井浄水場の主な配水池はあり、それぞれの配水池が受け持つそれぞれの排水エリアの根幹的な位置づけをいたしております。配水管につきましては、ほぼ、ループ化を完了いたしております。

しかしながら、末端部分の配管につきましては、更に整備が必要なところもございますが、緊急時でも安全で安心して水道をご利用していただくことができるよう、健全な水道財政に留意しながら、整備に努めて参りたいと考えておりますので、ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

いかるがパークウェイの歩道内に配水管を埋設することで町内ループ化を強化する事業は東西ラインを強化する意味で災害時に水の心配を少しでも軽減できる効果が期待できるので今後の都市整備の観点から重要な事業とだと思ふ。

それでは、次の質問に移らせていただきます。

全国学力テストについてです。

まず、本年度の全国学力テストの本町の結果について伺う。

(教育長) 全国学力テストの結果につきましては、市町村ごとの序列化や過度の競争につながらないように配慮が必要であるから、都道府県別の結果は公表されていますが市町村別の公表は禁じられていることから、学校ごとの結果についてはお答えできないことをご理解願います。

当町では、中学校は本年度のテストで1校しか参加しておらず、もう少し情報公開してもよいのではと考えます。数字上の説明がなければ、学力テストの結果の分析が住民はできないからであります。

只今回答のあった学校どうしの偏った競争を招くという不開示の理由では、当町の場合小学校は2校参加しておりますので分からないではありませんが、中学校では理由になりません。

また、市町村どうしの競争は他の行政の数値が公開されていることから少しは必要で

はないでしょうか。子どもを伸ばすにはどうしたらよいかの視点で今後検討願いたい。

それでは、全国学力テストの今まで行われてきた結果と今回の結果から教育委員会の所見を伺う。

(教育長) 本町の小・中学校の学力及び学習状況や生活実態については、ほぼ一昨年のもとの傾向は変わっていないという状況にありますので、今回の結果も踏まえ、規範意識を育成する取組の見直しや、強化の指導方法及び授業環境の改善、更には児童生徒と教職員とのコミュニケーション作り等の面で課題があり、今後改善していくべき点が多いと認識しております。

このことについて、校園長会におきまして、この全国学力調査の結果を詳細に分析し、今後の指導の工夫・改善に向けた取組を進めるよう指示したいと考えています。

今後、教科の勉強だけでなく規範意識を育成する取組の見直しは是非取り組んでください。斑鳩の子どもたちの姿はまちの人々全体の姿です。

町外から来られた方々が、生徒の姿を見てさすが文化のある町、斑鳩だと思っただけの様にして下さい。

では、今年の学力テストで理科のテストが行われましたが、理科に対する本町独自の特色ある学習カリキュラムを編成されているのかを伺う。

(教育長) 本年度の学力状況調査で初めて理科のテストが行われましたが、理科に対する本町独自の特色あるカリキュラム編成については、特に教育委員会としては指導いたしておりません。

まずは新学習指導要領に基づき、指導内容を完全に実施させるように取り組むことが第一であると考えております。

もちろん新学習要領に基づいた指導は必要だと思いますが、理科という科目は実験・観察を地域独自の学習指導が有効な強化であると思います。

それが、斑鳩で育ってよかったとなるのではと申し添えまして、私の一般質問を終わります。